

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第124期 幹部予定者課程卒業式が挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠にめでたうございます。

今、こうして皆様の、規律正しく、凛とした姿を拝見いたしますと、江田島で過ごされた日々の訓練が、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

私達江田島市民は、崇高な使命を担われる海上自衛隊の皆様を心から尊敬し、誇りに感じております。

本日、御卒業される皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、江田島の幹部候補生学校で学ばれたことを胸に、更にたくましく成長していただくよう切に願っております。

さて、本市は1年前に発生した西日本豪雨災害により、甚大な被害を受け、現在も復旧・復興への歩みを続けております。

振り返りますと海上自衛隊の皆様には、災害発生直後から多大なる御支援を賜り、日々の訓練で鍛えられた強靱な精神と、復旧支援活動は、不安を抱える江田島市民の大きな励みとなりました。

また、復興支援だけでなく、先月6月13日には、NPO 法人古鷹フレンドシップクラブとともに、沖美町の入鹿海岸一帯の清掃活動にも汗を流していただきました。

御蔭を持ちまして、とても気持ちの良い環境で、「第6回江田島 SEA TO SUMMIT 2019」に宇宙飛行士の若田光一さんの御家族をはじめ、全国から多くの参加者をお迎えし、自然に恵まれた江田島の美しい景観を全国の皆様にPRできましたことに、心から感謝を申し上げます。

若田光一さんからは、「宇宙から見ても江田島は本当に美しい所です。」と市民の皆さんへメッセージとして色紙をいただきました。本当にありがとうございました。

さて、こうした本市への御支援はもとより、国際社会を見渡しますと、今年5月に北朝鮮が「飛翔体」、いわゆるミサイルを発射するなど、我が国を取り巻く安全保障環境は、依然として予断を許さない状況にあります。

新しい令和の時代が幕を開け、刻々と変化する国内外の情勢を注視し、どのような環境に置かれても、ここ江田島の幹部候補生学校で学ばれた強靱な精神と、高い技術を存分に発揮され、平和を願う国民の負託に応える活躍を心から祈念しております。

本日、海上自衛隊幹部候補生学校を巣立つ皆様は、江田島市民の大切な仲間であり、誇りであります。どうぞ、江田島の地を第二の故郷に想い、折にふれて訪れていただければ、市民一同、心から歓迎申し上げます。皆様とのご縁と絆をいつまでも大切にし、またいつの日かお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして御卒業される皆様並びに御家族の皆様、御臨席の全ての皆様の、御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和元年7月1日

あき おか しゅう さく  
江田島市長 明 岳 周 作